

地域高規格道路境港出雲道路 松江北道路

地元説明会 (H30.7月～)

松江北道路は境港出雲道路の一部として、また松江市の外環状道路の一部として、松江だんだん道路を経由し山陰道へのアクセス性向上に伴う物流の効率化、市内へ流入する交通の分散化に伴う渋滞の緩和等により地域の発展に貢献することを目的とした道路です。

松江北道路 ルート案



松江市内道路ネットワークの課題と 松江北道路を含めた環状道路整備による効果

①交通渋滞

松江市内では、特に朝・夕の通勤時間帯において、市街地内移動、周辺部からの市街地への移動および市街地へ流入する通過交通が錯綜し、交通渋滞が発生しています。市内中心部の交通量を減らすことが必要です。

▶交通渋滞の様子 (松江市春日町)

②災害・緊急時への備え

松江市は宍道断層による地震の被害が想定されています。また平成18年7月の豪雨では、地盤の低い大橋川周辺を中心に市街地が2日間にわたり浸水し、新大橋やくにびき大橋が通行止めとなりました。災害時などに、緊急車両の通行や支援助物資の輸送、避難を安全に行うため、複数の幹線道路を構築しておく必要があります。

▶平成18年7月豪雨による浸水被害 (JR松江駅前)

③山陰道への接続

市内西部や北西部から山陰道へ乗るためには、市街地内を通過する必要があります。このため、山陰道に乗るまでに時間を要し、高速道路を利用する際の利便性が低い状況にあります。

④宍道湖・中海圏域の連携 (観光振興)

宍道湖・中海都市圏の観光では出雲大社と境港への入込客数が多くなっています。このうち境港から島根県内観光地への周遊では、松江市街地の経由が多く、所要時間の短縮が求められています。

交通分散機能

市内中心地へ向かう交通を分散します。郊外と中心部を結ぶ経路選択の幅が広がり、渋滞する交通を分散させることができます。

市街地の渋滞が緩和

非常時の迂回機能

災害事故時の迂回路となります。災害、事故、工事等により一部不通区間が生じた場合に、速やかな迂回が可能となります。

国道431号(現道)と並走し、迂回路機能確保

バイパス機能

通過交通を排除します。中心部に目的地をもたない通過交通が市街地を通過しなくても済むことで渋滞が緩和します。

起点から終点まで1.2分程度の時間短縮・定時性の確保

▼主要観光地の観光入込客数

| | |
|-------------|-------|
| 松江オーガニカルパーク | 17万人 |
| 一橋宗廟 | 33万人 |
| 出雲大社 | 604万人 |
| 松江しんじ湖温泉 | 30万人 |
| 松江城 | 46万人 |
| 五達温泉 | 62万人 |
| 境港 | 173万人 |
| 松江大社 | 13万人 |
| 美保関 | 70万人 |

資料:平成29年度観光振興戦略調査結果、平成28年度観光客入込動向調査結果

松江北道路の計画概要

| | |
|-------|------------------|
| 路線名 | 松江北道路 |
| 起点 | 松江市西浜佐陀町 |
| 終点 | 松江市下東川津町 |
| 延長 | 約10.5km |
| 道路の区分 | 第3種第2級 |
| 設計速度 | 60km/h |
| 車線数 | 2車線 |
| 幅員 | 8.0m (トンネル部7.5m) |

